

広瀬川（広瀬橋地点）の水量が回復 ～名取川から広瀬川への導水を停止しました～

梅雨明け直後から猛暑と小雨が続き、名取川水系広瀬川（広瀬橋地点）において水量の減少及び大倉ダム貯水率の低下を受け、各利水関係機関と調整してきたところです。

9月1日以降、「名取川水系湯水情報連絡会（第三回）：27日開催」において確認された調整内容に基づいて、大倉ダムからの放流量の減量等が行われます。

それに先立ち、本日12時に、愛宕堰（仙台東土地改良区）からの取水が終了し、広瀬川の広瀬橋地点の水量が回復したことから、仙台河川国道事務所が行っていた名取川から広瀬川への導水（0.4m³/s）を停止しました。

なお、郡山堰（郡山三区土地改良区）からの取水及び「愛子ため池及び斉勝沼」からの増放流（約0.1m³/s）についても本日終了します。

導水期間：7月29日から8月31日までの33日間
（台風による一時停止した1日を除く）

<添付資料>

※発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 仙台河川国道事務所
仙台市太白区郡山5丁目6-6

（河川）副所長

本多 吉美

Tel (022)-248-4131

河川管理課長

畑山 作栄



広瀬橋地点 8月31日12時時点



広瀬橋地点 8月31日15時時点
流量が回復しています。